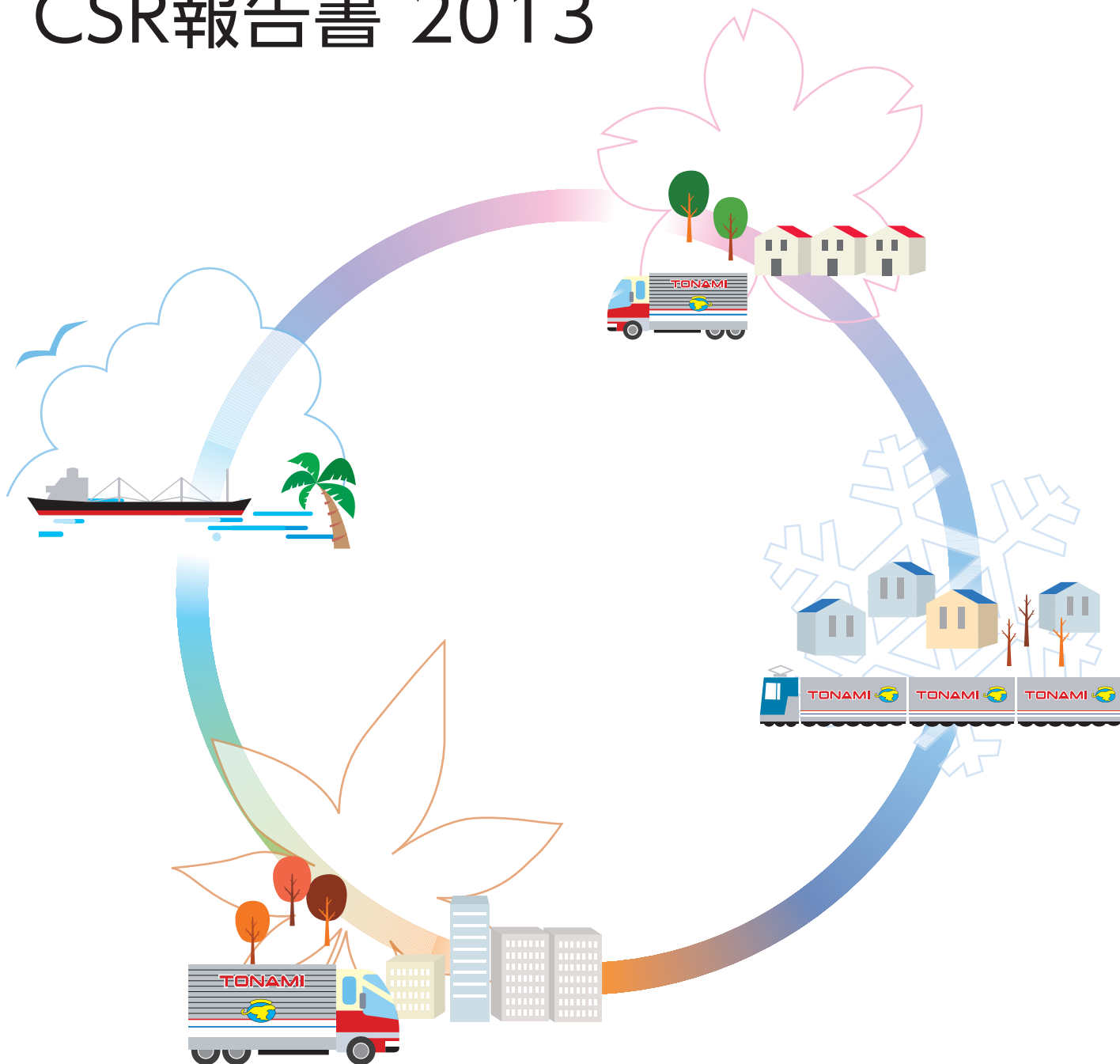


Corporate Social Responsibility Report

CSR報告書 2013



トナミホールディングス株式会社
TONAMI HOLDINGS CO.,LTD.

おかげさまで 70 周年 企業の社会的責任をはたし、 未来へと発展し続けます。

トナミホールディングス株式会社
代表取締役社長

綿貫 勝介



当社は、本年創立70周年を迎え、お客様、地域の皆様、株主の皆様への「感謝」の気持ちを新たにし、これまでの当社の先人の歩みを教訓として、業容の拡大をはかることにより、企業価値の一層の向上をはかり、社会に貢献してまいります。

使命を果たす

トナミホールディングスグループは、2012年4月から「自己革新への道!! イノベーションプラン“19”」をスローガンとする中期経営3ヵ年計画をスタートさせ、「事業構造改革による収益性の強化」と新たな物流事業創生による「事業規模の拡大、市場競争力の強化」を経営の最重点課題として取り組んでおります。

グローバル化する物流業界において、ますます高度化・多様化する顧客ニーズを的確にとらえ、グループ一体経営の実現に努めることにより、業容の更なる拡大をはかり、全事業において安全・安心なサービス提供を基本に、経済活動と生活を支えるライフラインとしての役割を果たしてまいります。

コンプライアンスの徹底

コンプライアンスを機軸とした社会的責任経営を企業価値創造の基本ととらえ、より一層のグローバルな視点での継続的な社会貢献の実現を目指しております。

トナミグループ社員行動規範に則り、「事業活動のあらゆる局面において、コンプライアンスを徹底する」ことを行動原則として、物流事業における一層の事業価値創造とCSRを果たす経営の促進につとめております。

また、本年7月には、トナミホールディングスにグループ内事業会社の「輸送の安全・安心」を包括的に管理する「安全管理部」を新設し、経営リスク管理体制の一層の強化をはかっております。

「輸送の安全を確保すること」、「地球環境に配慮すること」、「法令やルールを守ること」、「人権を尊重すること」、「地域社会に貢献すること」は、物流企業として不可欠なことであり、企業倫理と法令遵守、コーポレートガバナンスの充実にむけて、邁進してまいります。

次世代へつなぐ

時代を担う社会のインフラ機能として、物流の効率化、デジタルタコグラフの活用によるエコドライブの徹底、共同輸送の取り組みを通じ、エネルギーロスを生まない環境に配慮した事業活動に取り組み、この美しい地球の保全に寄与してまいります。

また、東日本大震災も含め、近年これまで経験したことのない災害が多く発生し、事業継続計画 (BCP) の再構築が急務となっており、当社グループも経営の要である情報システムを大規模災害から守ることを重要課題とし、災害時にも生活を支えることができるよう取り組んでおります。

企業の成長と環境保全、次世代を担う継続的かつ持続可能な活動によって、社会的責任を果たしてまいりたいと考えております。

当社グループの活動を若干なりとも紹介することにより、社会に信頼される企業を目指した取り組みの一端をご理解頂ければ幸甚に存じます。

今後とも皆様には忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

トナミホールディングスグループ経営理念

「和」の経営理念を実践し、
経営基本方針に基づいて
「企業の社会的責任(CSR)」を
はたしていきます。

トナミホールディングスグループは、お客様に「安全・確実・迅速なサービス」を提供することを通して事業の発展をはかり、株主の皆様へ「適正で安定した配当」を継続することを経営の基本方針としております。
この方針に基づいて、収益性を確保し、常に企業価値の向上に努め、その成果を株主の皆様、お客様、取引先、従業員、社会と適正に分ちあうことが、トナミホールディングスグループの使命であると考えております。

編集方針

- この報告書は、2012年度に行ったトナミホールディングスグループのCSR活動を紹介しています。
- 構成にあたっては環境省「環境報告ガイドライン2007」を参考にしています。

対象期間

2012年4月1日～2013年3月31日（一部対象期間外の活動も含みます。）

対象範囲

トナミホールディングスグループの活動実績を対象とし、中核事業会社トナミ運輸の報告を中心としています。

Contents

トップメッセージ	1
経営理念	2
事業報告	3

特集

I お客様とのパートナーシップの構築	4
II グリーン物流の推進とリサイクル事業	7

社会とのつながり

地域社会とのコミュニケーション	9
-----------------	---

環境とのつながり

環境マネジメント	11
地球温暖化防止・大気汚染防止	13
廃棄物削減への取り組み	16

社員とのつながり

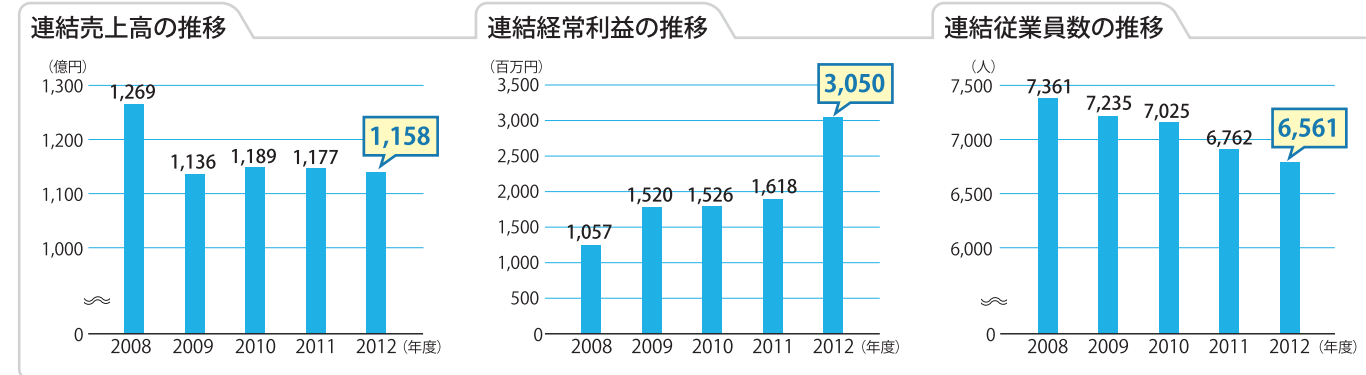
安全な社会づくりを目指して	17
人材育成と働きやすい職場づくりを目指して	19

企業統治

コーポレートガバナンス体制	21
法および社会倫理の遵守	23

トナミホールディングス グループの概要	25
------------------------	----

事業報告2012年度(2012年4月~2013年3月)

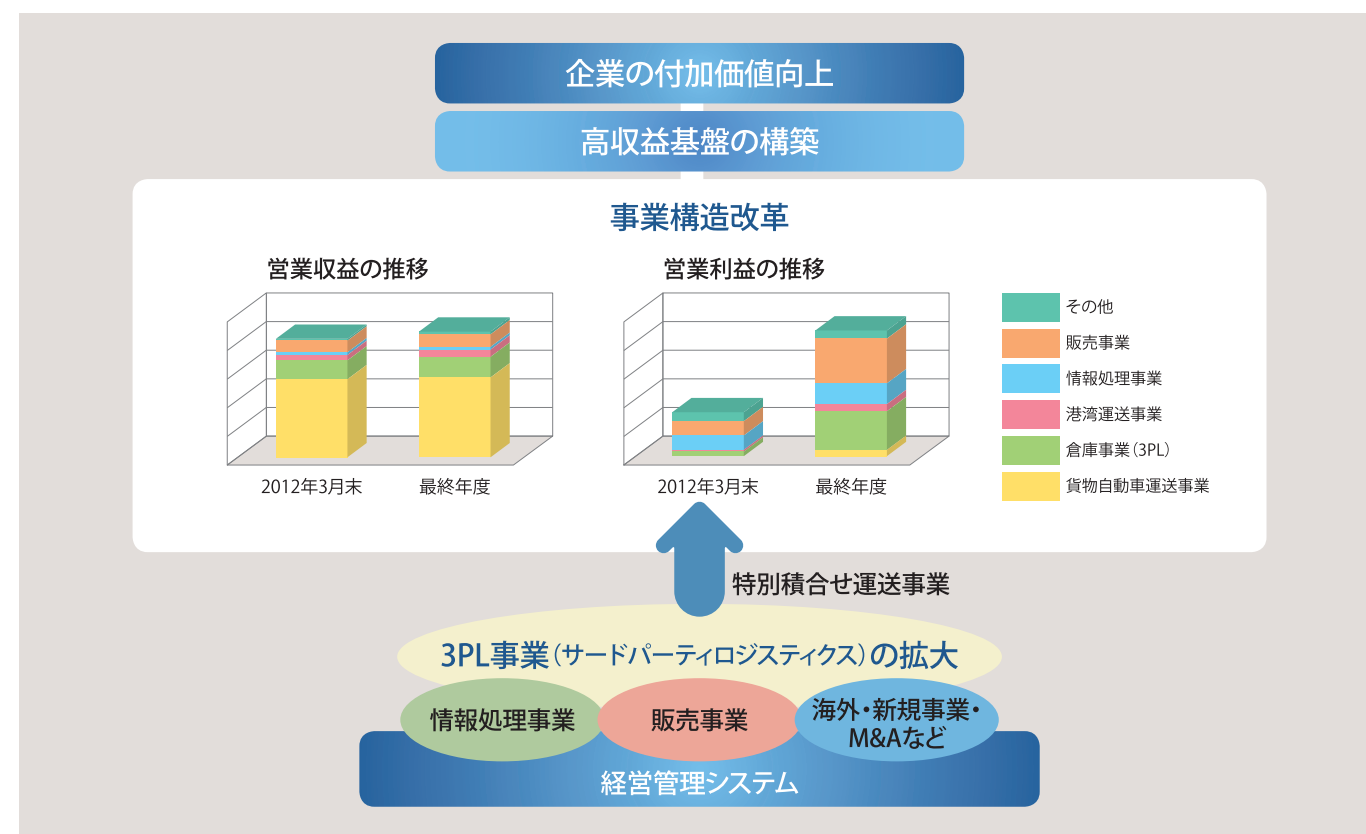


事業別連結営業収益

事業別	金額(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
物流関連事業	(105,728)	(91.2)	(98.4)
貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業	80,692	69.6	98.6
倉庫業	19,179	16.5	97.7
港湾運送事業	5,856	5.1	97.6
情報処理事業	(2,633)	(2.3)	(96.9)
販売事業	(6,717)	(5.8)	(100.3)
その他	(785)	(0.7)	(98.8)
合計	115,864	100	98.4

(注) その他欄には、自動車修理業、旅行業、ダイレクトメール業、その他事業の各収入を含めて表示しております。

中期経営3ヶ年計画(2012~2014年度)経営目標



特集 I お客様とのパートナーシップの構築

お客様の立場で品質へのこだわりを考え、
お客様に心から満足していただける商品・サービスの提供を目指しています。

品質方針 ~物流品質の向上のために~

トナミ運輸は、総合物流企業として社会に寄与し、常に安全、確実、迅速なサービスを提供し、顧客ニーズに対応しています。
物流サービスの提供にあたっては、効率化をはかり、さらにより高い品質を目指し、事業が絶えず成長を続けるため、品質方針に基づいて行動します。

品質方針

顧客の要求事項を満たし、信頼と満足を戴きます。
品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。
法令、規則、社会規範を遵守します。
組織の各部署で具体的な品質目標の設定をします。
品質目標の達成度を検証し、見直します。

7つの取り組み ~「商品事故を減らしたい!」という私たちの思い~

トナミ運輸は、お客様の声を物流品質の向上に役立てようと、5,000社以上のお客様にアンケートを実施しました。「物流品質とは何か」との質問をしたところ、「商品事故を起こさないことが物流品質である」とのご回答をいただきました。そうした声にお応えするために、物流品質の向上を目指して組織体制づくり、見直しを行いました。そして、商品事故を起こさないために、トナミ運輸独自の7つの取り組みを全事業所で展開しています。その結果、5年間で商品事故を40%以上減らすことができました。

7つの取り組み

- ①「物流品質マイスター」によるトナミ品質の全事業所展開
- ②「全店共通ルール10ヶ条(トナミルール)」による業務品質の全事業所標準化
- ③「商品事故削減計画書」により全事業所で毎月、継続的改善(PDCA)
- ④プラットフォーム上の商品を守る「養生板」を全事業所に配備・活用徹底
- ⑤プラットフォーム上に「24時間監視カメラ」を設置し、商品事故防止に活用
- ⑥現場第一主義:社外の専門家を含む多様なメンバーでの現場点検指導
- ⑦お客様へ「物流“安心”品質」(運送保険)をご案内・ご提供

物流品質マイスター制度

トナミ運輸は、2009年10月に、東京海上日動火災保険(株)様のご協力を得て、業界初となる「物流品質マイスター制度」を導入しました。「物流品質マイスター」には、お客様の商品を安全・確実・定時にお届けするための品質・組織づくりに長けた社員を認定しています。そのノウハウを社内で共有し、全事業所で展開しています。



物流品質マイスター認定書



物流品質マイスター

3PL (サードパーティロジスティクス) 事業

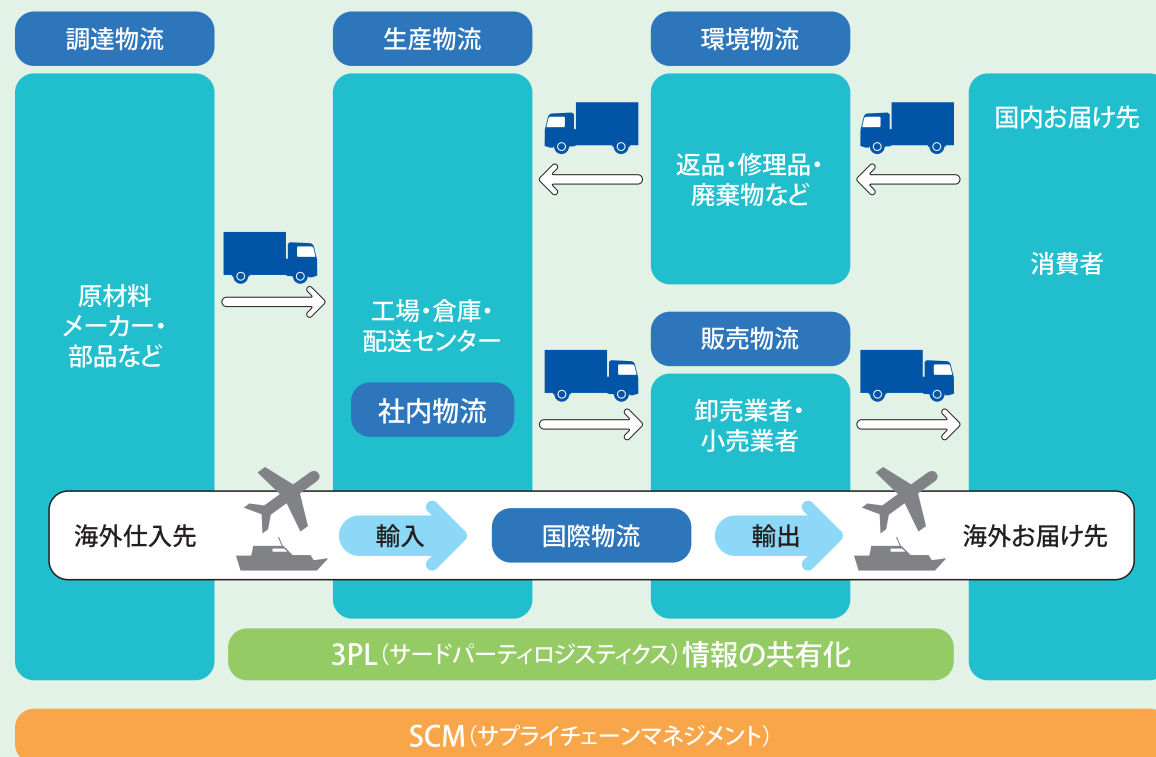
お客様の物流機能の効率化や高度化をサポートするアウトソーシングサービスです

荷主企業の物流機能の効率化や高度化を目的とした包括的なアウトソーシングサービスです。輸送・保管など基本的な機能のほか、情報システムを活用した受発注・在庫管理・仕分け・梱包など関連する業務を提供しています。

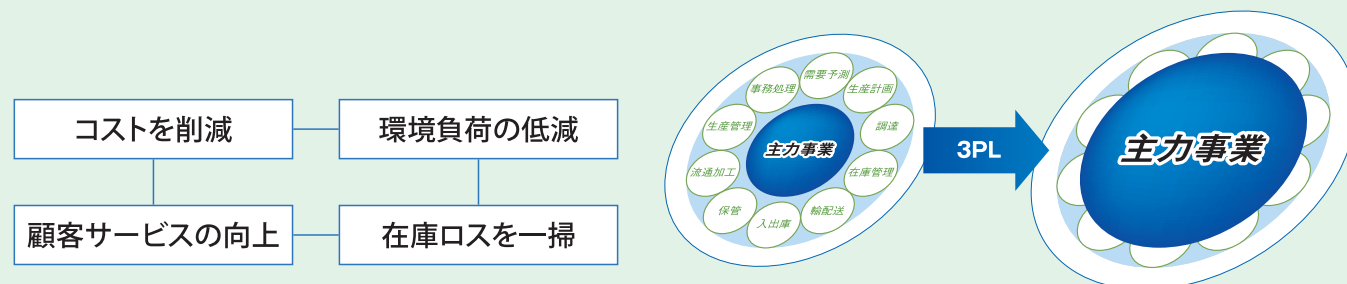
アセット型はもとより、自社保有の資産にとらわれないノンアセット提案も行っています。社会全体が環境に対

する関心が高まる中、省エネ設備・技術を導入した物流施設を増やし、環境負荷を低減する取り組みを進めています。

近年、薬事法の改正により、需要が高まった医薬品関係の物量増に対応するため、2012年12月より、富山流通センターで「医薬品製造業」「卸売販売業」の許可を取得し、医薬品の扱いを開始しています。



すべての物流業務をトナミ運輸におまかせいただくと、お客様は主力事業に専念でき、経営効率の向上につながります。



TSM (トナミ・サプライ・メンテナンス) 事業

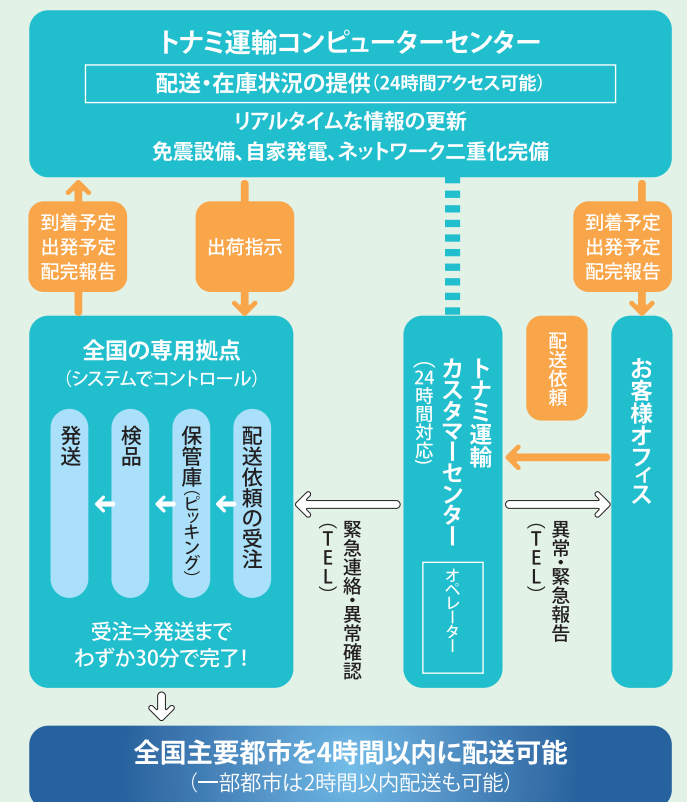
24時間365日、お客様の「目」と「耳」になり、物流を監視・管理し高品質な配送をご提供します

TSM (トナミ・サプライ・メンテナンス) 事業とは、「お客様の24時間365日の物流ニーズ」に対応するために、既存の全国物流ネットワークとコンピューターシステムを融合させた新しい物流サービスをインターネット環境を利用したマルチベンダー型物流管理システムにより、お客様と物流業者による配送や在庫のリアルタイムな情報の共有化を可能にし、それぞれの顧客ニーズにマッチした物流システムの構築、サービスの提供により、物流の最適化をはかります。

サービス内容

- ① 全国に配置した専用拠点とコンピューターシステムにより、24時間365日対応の配送が実現可能です。
- ② 専用システムによりお客様（メーカー・販売店・エンドユーザー）がリアルタイムに必要な物流情報を取得、確認できます。
- ③ 配送工程・入出庫工程などすべての工程に対するレポート機能が充実しています。
- ④ リアルタイムでのデータ更新並びに照会が可能です。

緊急配送システムの概要



海外への事業展開

国際物流サービスの充実化をはかり、お客様のグローバル化をサポートします

経済やビジネスのグローバル化に合わせて世界各国との輸出入が増えている今日、トナミホールディングスグループではトナミ運輸及び関連会社との連携により地球規模のネットワークを張り巡らせています。事業戦略の一環として、2010年1月にタイ国に現地法人を設立し、2011年、2012年とタイ現地企業2社を子会社化しました。

中国・大連においては、2011年1月に現地法人を設立し、2013年1月には中国国内での陸運免許を取得し実運送業務が可能となりました。これらをアジアにおける拠点と位置づけ、さらなる業務拡大に取り組んでいます。



托納美物流（大連）有限公司

引越事業

住まいの引越や事務所移転、イベント会場の設営、精密機器の輸送、トレーニング機器の輸送と設置、家具の組み立てと設置、産業廃棄物の運搬、楽器の輸送、雑誌の陳列作業等、幅広く業務を行っています。

国内で蓄積したノウハウを活用し、海外引越の拡大強化に取り組んでいます。



環境負荷低減への取り組みは、業種を問わず、企業に求められています。トナミホールディングスグループでは、お客様に総合物流企業として、提案・サポートを行っています。

モーダルシフトの推進

グリーン物流と安全物流を目指して鉄道輸送の比率を高めています

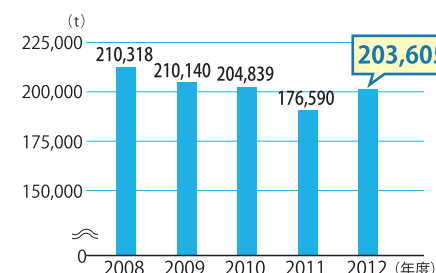
トナミ運輸・トナミ運輸中国は、モーダルシフトへの取り組みの一環として、コンテナによる鉄道輸送を行っています。



トナミコンテナ

トラック輸送の削減による環境負荷低減と同時に、交通事故防止や長距離運行等の効率化につながっています。

コンテナ輸送実績の推移 (トナミ運輸・トナミ運輸中国)



機密文書リサイクル「エコロックシステム」

リサイクルとセキュリティを両立させる取り組みを推進しています

トナミホールディングスグループは、リサイクルとセキュリティを両立させた機密文書リサイクルシステム「エコロックシステム」を事業展開しています。北陸地区に事業拠点を設け、地域企業と共同出資の(株)ジェスコ様を中心に、行政や病院、金融、生損保など、あらゆる業種で機密文書を一度に大量に排出する場合にご利用いただいています。

また、「エコロックシステム」を発展的にリニューアルした「トナミエコロックシステム便」を2010年10月より販売開始しました。新システム便は1個口からでもセキュリティを付加した輸送モードにより回収と機密消滅ができる商品です。

トナミエコロックシステム



廃家電製品 (エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機) の収集運搬業務・集積場の運営

一次収集業務

トナミホールディングスグループは、リサイクルが義務づけられている廃家電製品のリサイクルを支援するために、電器店などで引き取られた廃家電製品の一次収集を北信越地区で行っています。

法定集積場

呉西トナミ運輸は富山県内、中京トナミ運輸は静岡県内の廃家電製品の法定集積場として、一地域を担当しています。2010年4月からは、静岡県で2ヶ所目の法定集積場 (袋井市) の運営を開始しています。



集積場

新グリーンエネルギー事業会社の設立

世界初の取り組みを行う事業体、アルハイテック株式会社の設立

トナミホールディングスを含む8社の共同出資による合併会社を設立しました。「廃アルミ付循環物の回収及び未利用エネルギーの活用」を目指し、新しい循環型社会の構築に貢献します。一般家庭や工場から出るアルミ付廃棄物から高純度アルミ、重油、水素などの資源・エネルギーを回収します。

これまでも産・学・官・民間団体との連携や、環境省の「地球温暖化対策技術開発事業」の委託を受けるなどして研究・開発を進めてきました。その結果、事業化の可能性・有効性が確認されました。また、住民団体、福祉団体、自治体、アルミ利用メーカー等からは早期の事業化が求められていたことから、会社設立となりました。

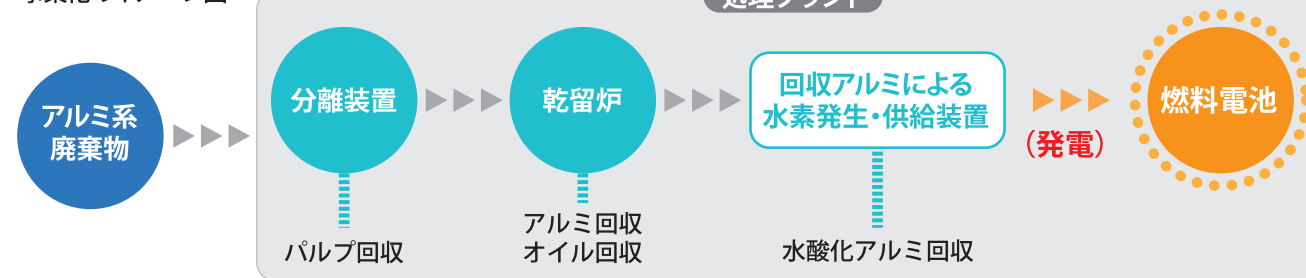
回収アルミから高効率的に水素発生と発電を行い、今後到来すると考えられる水素社会において有望な事業

であると考えられます。要となる技術実証とプラント設計などを当初の優先的目標として資源の再生可能な社会の構築に貢献するとともに地球環境に配慮した事業をはかっていきます。



環境省での記者会見 (9月25日)

事業化のイメージ図



未利用エネルギーなどを市民とともに考える

産学官市民連携で、北陸地域に適した循環型社会システムづくりを目指しています

トナミ運輸が事務局として活動の主たる推進役となっている北陸グリーンエネルギー研究会は、北陸三県を主な活動拠点として各地で開催される環境フェアやイベントに出展しています。また研究会の会員と協力し、環境問題や循環型社会作りの大切さについて市民の皆様と一緒に勉強会等を開催しています。これらを通じてアルミ付プラスチック包装容器などの回収や資源としての有効活用など未利用エネルギーの利活用について理解を深め、さらに次世代エネルギーを用いた社会や街づくりなどについて市民の皆様とともに連携し推進しています。



社会とのつながり

地域社会とのコミュニケーション

トナミホールディングスグループは、次世代育成や福祉施設への支援活動など、さまざまな地域活動に参加し、社会に貢献しています。

● インターンシップ実施

京神倉庫では将来通関業への就職を志望している学生を支援するため、2005年より京都産業大学の3回生を対象に毎年インターンシップ生を受け入れています。2013年度も8月26日から9月6日までの10日間、男子学生1名が国際大阪支店で就業体験を行いました。



小瀧忠一常務取締役管理本部長から修了証授与

研修期間中の実習内容とプログラム

貿易、通関業務の実体験を主眼にプログラムを策定。同世代の実務担当者が常時指導。

実習内容

- 業務概略説明、貿易実務の基礎説明
- 申告書類作成
- NACCS(輸出入・港湾関連情報処理システム)入力
- 税関・南港・コンテナヤード(輸出入するコンテナの搬入、保管、荷捌き、荷役等をする施設)見学
- 倉庫見学
- 得意先へ同行し書類の受渡し他

プログラム

- 1日目: 本社でオリエンテーリング(研修の内容及び当社概要について説明。午後から実習)
- 2～5日目: 現地・国際大阪支店で実習
- 6、7日目: 支店見学(関西空港支店、一般倉庫他)
- 8、9日目: 現地・国際大阪支店で実習
- 最終日: 本社で研修レポート作成。修了書授与。

インターンシップ受入者からのメッセージ

インターンシップ生は将来通関業への就職を志望しており、大学でも通関士育成講座を受講し「通関士」資格取得を目指し日々勉学に励んでおります。インターンシップにより、机上の知識だけでなく実際に業務の一部に携わることで、自身がイメージしている業務内容をより深めることができ、就職活動におけるミスマッチの解消につながります。今回も限られた時間の中での研修となりましたが、この就業体験を今後の学生生活や厳しさを増す就職活動に生かされることを願っております。

京神倉庫(株)総務人事部長 永野 徹



● 専門技術者等特別講師招聘事業

富山県教育委員会より、例年の通り、当社に「専門技術者等・特別講師招聘事業」への協力要請があり、2013年2月5日、三枝取締役・経営企画室長が講師を務めました。本事業は、地域社会から第一人者を招いて、商業科で学ぶ生徒に対して示唆を与えることにより、商業科生としての自覚と意識の高揚をはかるものです。



富山県立高岡商業高等学校

富山県立高岡商業高等学校・流通経済学科の1年生50名を対象として、「ビジネスと流通(運輸業)」をテーマとして2時間の授業が行われました。生産拠点の海外へシフトも加速し、物流のグローバル化の進展とともに、業務の効率化と経営の見える化のツールとして、ITの役割・機能の高度化が進んでいます。

その様な中で、顧客企業への物流サービスの提供を通じて、地域社会の活性化へ貢献することによる、企業の社会的責任についての取り組み事例を紹介しました。社会インフラとして、「物流」が経済活動への大きな役割を担っていることを教宣し、産業界の新しい情報や高度化する技術の習熟の一助となることを期待します。

● e-ネットキャラバン※活動

トナミ運輸ネットワーク推進部は、業界規模のe-ネットキャラバン協議会のCSR活動に賛同し、教育委員会主催等の保護者や教職員、生徒を対象としたインターネットの安心・安全な利用に関する啓発活動を行っています。



魚津市立西部中学校

※e-ネットキャラバンは、総務省、文部科学省、情報通信分野等のボランティアで講師を派遣する企業/団体/個人の支援・協力により、全国規模で講師を派遣する出前講座を行っています。講座内容は、ケータイ依存、ネットいじめ、ネット誘引、ネット詐欺などの実態やその対策方法等です。PTAの会合、勉強会や教職員の研修会等にぜひご活用ください。講座を行う講師の派遣に伴う謝礼や交通費は不要となっています。e-ネットキャラバン公式ホームページから、申込受付を行っています。

● 福祉支援活動(財団法人トナミ松寿会)

財団法人トナミ松寿会は、社会福祉施設などへの助成活動を目的に1994年3月に設立された団体です。

2012年12月20日、富山県内の福祉施設4団体に送迎用車両の贈呈式が行われました。設立時から今回を含め、車両の寄贈は、延べ69台(69施設)となりました。



贈呈式



寄贈車両

● 「安全・安心マーク」※取得

トナミ運輸ネットワーク推進部インターネットグループは、2009年10月に「安全・安心マーク」を取得し、安全・安心なインターネット環境の提供に取り組んでいます。

※「安全・安心マーク」とは、インターネット接続サービス事業者の業界3団体が、安心してインターネットを利用いただくため、「インターネット接続サービス安全・安心マーク制度」を設けています。この「安全・安心マーク」により、一般利用者がインターネット接続サービス事業者を選択する際に、ユーザー対策やセキュリティ対策などが、一定基準以上であるという目安を提供しています。



● バドミントン教室の開催

トナミ運輸バドミントンチームは、国内は勿論の事、国際大会でも大活躍しています。昨年のロンドンオリンピックでは、佐々木 翔選手が男子シングルスにおいて日本バドミントン界初の5位入賞を果たしました。



バドミントン講習会

企業チームとして、ジュニア選手を対象にバドミントン教室・講習会等を行い、スポーツの素晴らしさを共有し、2020年に東京で開催されるオリンピックに希望と夢を共に描き始めています。

また、国内各地から依頼されるバドミントン講習会等にも選手を派遣し、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

環境とのつながり

環境マネジメント

私たちは、安全で確実・迅速な輸送サービスをお客様に提供し、ご満足いただくことが第一の使命であると考えます。
同時に私たちを取り巻く環境問題についても、私たちにふさわしい責任を果たすことを目指します。

● 環境負荷軽減への取り組み

トナミホールディングスグループは、「Do Eco!」をスローガンに従業員一人ひとりが日常、気軽にできる5つの取り組みを設定しています。

5つの取り組み

- ① 省電力の推進
- ② コピー用紙使用量の削減
- ③ ゴミ分別の徹底
- ④ 安全な走行を心掛けよう
- ⑤ アイドリングストップの実施

トナミ運輸は環境方針を定め、日々の活動において可能な限り環境に配慮するよう努めています。



環境方針

地球環境を守る事は、あらゆる生命の生存に関わる最重要テーマであると認識し、「輸送を通じ社会に寄与し、地球環境の保全に努める」を基本理念として、以下の方針に基づいて取り組みます。

① 輸送サービスを提供することによって生じる環境汚染に対して、次の事を守ります。

- ① 環境に優しい車の導入を図ります。
- ② エコドライブの実践に取組みます。
- ③ 物流の効率化を通じて、地球環境に優しい物流システムを構築します。
- ④ リサイクルシステムを構築し、循環型社会づくりに貢献します。
- ⑤ 環境に優しい商品の開発、提供を推進します。
- ⑥ 省資源、省エネルギーに継続的に取り組み、日々、改善を図ります。

② 環境に関する国・地方自治体等の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、環境保全に努めます。

③ 環境目的及び環境目標を具体的に定め、定期的にレビューを実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を致します。

④ 社内環境教育、啓発活動を通して全従業員に本方針を周知すると共に、一般にも公開し、さらに、地域社会への環境保全活動に積極的に参加します。

● 環境保全活動の目標と実績

トナミ運輸は、環境活動を推進するための環境マネジメントに取り組んでいます。さまざまな活動に目標を持ち、結果を見直し、継続的改善に向けて、体制強化に努めています。

2012年度取り組み実績

◎:向上 ○:維持 ×:低下

実践項目	取り組み実績	自己評価	ページ
環境にやさしい車の導入	低公害車17台を導入	○	P14
物流の効率化と地球環境にやさしい物流システムの構築	鉄道によるコンテナ輸送継続実施	○	P7
	車両積載率 0.49%向上(2011年度比)	◎	P13
エコドライブの実践	デジタル式運行記録計の活用	○	P15
	使用燃料削減、燃費維持	○	P13
リサイクルシステムの構築	機密文書リサイクル(エコロックスシステム)事業の取り組み	○	P7
環境にやさしい商品の開発・提供および調達	コピー用紙、トイレトペーパー、段ボールのリサイクル品購入	○	P16

2012年度省資源・省電力の取り組み実績

実践項目	2012年度目標		2012年度実績	評価
	目標	目標値		
電力使用量の削減(トナミ運輸信越、トナミ運輸中国含)	2011年度比1%削減	23,761,833kWh	23,572,163kWh	◎
コピー用紙使用量の削減(トナミ運輸本社)	2011年度比1%削減	年間 1,217,700枚	1,132,000枚	◎

● ISO14001(環境マネジメントシステム)とグリーン経営認証

トナミ運輸は、2003年10月、本社において環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。環境マネジメントシステムを運用し、環境負荷軽減のための継続的改善をはかっています。

また、トナミホールディングスグループの物流分野の8社がグリーン経営認証を取得し、物流における環境保全の実効性向上につなげています。

グリーン経営認証取得会社一覧

トナミ運輸 4事業所 阿南自動車 7事業所 関東トナミ運輸 5事業所 呉西トナミ運輸 本社	新潟トナミ運輸 本社 石川トナミ運輸 5事業所 福井トナミ運輸 京神倉庫 2事業所
--	--



ISO14001適合証明証



グリーン経営認証登録証

地球温暖化防止・大気汚染防止

CO₂などを中心とする温室効果ガスの増加は、地球温暖化に大きく影響します。低公害車の導入や、輸送の効率化、各種省エネ設備の導入など、温室効果ガス削減のための取り組みを積極的に進めています。

CO₂排出量の削減に向けて

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、エコドライブの実践や低公害車や省エネ設備の導入など環境負荷低減への取り組みを進めた結果、2012年度のCO₂総排出量は、107,137t-CO₂となりました。

また、エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)において特定貨物輸送事業者として、貨物輸送のために使用した燃料から発生するCO₂総排出量を2016年までに2011年度比で5.2%削減することを目標にし、4つ

の項目に取り組んでいます。

2012年度のCO₂総排出量は89,300t-CO₂となり、2011年度の92,100t-CO₂と比較して約3%削減することができました。

2008-2012年度CO₂排出量(トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国全事業所と全車両(リフト含む)対象) (単位:t-CO₂)

使用エネルギー	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2011年度比
軽油	103,506	96,214	93,275	91,936	89,516	97.4%
ガソリン	1,364	1,046	1,376	1,297	1,255	96.8%
A重油	278	309	279	274	235	85.8%
LPG(リフト)	887	802	881	745	813	109.1%
CNG	1,516	1,675	1,959	2,110	2,240	106.2%
LPG(湯沸)	491	478	456	456	448	98.2%
灯油	248	293	365	331	387	116.9%
都市ガス	79	110	84	68	52	76.5%
電力	11,490	11,300	9,945	9,461	12,191	128.9%
CO ₂ 総排出量	119,859	112,227	108,620	106,678	107,137	100.4%
そのうち輸送に伴うCO ₂ 総排出量	100,000	94,500	92,500	92,100	89,300	97.0%

※温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(2010.3改正)参照

2012～2016年度の取り組み(特定貨物輸送事業者として)

取り組み項目	期待効果	進捗状況(2012年度)
エコドライブの実践 全車両／燃費3%の向上	原単位3.0%向上 (2,244t-CO ₂ 削減)	デジタル式運行記録計の活用や エコドライブ教育等を継続的に実施中
輸配送コースの見直し 空車キロの削減(運行車1運行5km、集配車10km／月)	原単位1.0%向上 (742t-CO ₂ 削減)	車両の走行キロ削減等の効率化を推進中
輸送効率の改善 積載率1%の向上	原単位0.7%向上 (522t-CO ₂ 削減)	積載率89.4%(2011年度比0.49%向上)
モーダルシフトの実施 長距離運行系統 (東京～広島)の鉄道コンテナ化 2便／日	原単位0.5%向上 (500t-CO ₂ 削減)	鉄道によるコンテナ輸送継続実施中

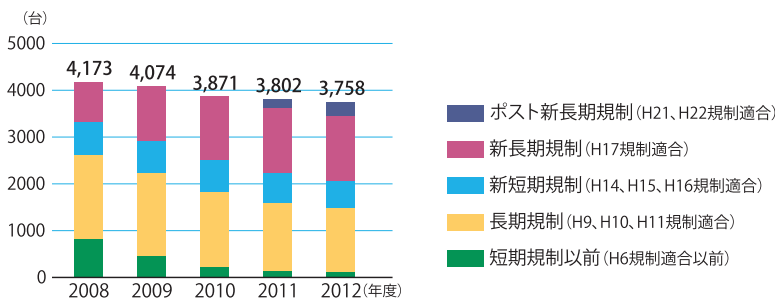
● 環境にやさしいトラックの導入(NOx・PMの削減)

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、輸送に関わるNOx、PMなどの大気汚染物質削減をはかるため、環境に配慮したトラックを導入しています。2012年度は新たに251台を導入し、そのうち天然ガス自動車(CNG車)は17台導入しました。その結果、前年度と比べ、NOxを58t、PMを5t削減しました。

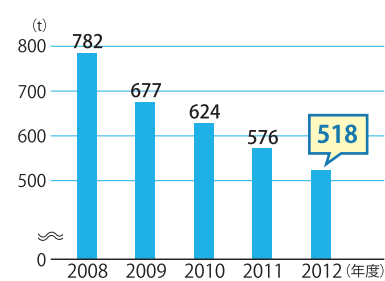


天然ガス自動車

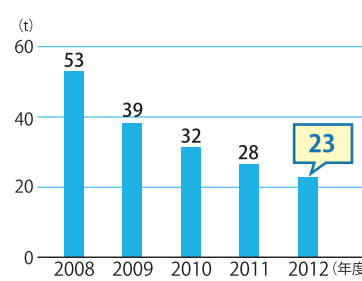
トラック保有実績の推移 ※信越・中国含



NOx排出量の推移



PM排出量の推移



● エコドライブの実践

省燃費運転(エコドライブ)は、大気汚染物質や温室効果ガスの排出を抑えるとともに、やさしい穏やかな運転の実践により、安全性の追求、燃費の向上をもたらします。トナミホールディングスグループは、「安全」「環境」「経営」にさまざまな効果が期待される『エコドライブ』を実践しています。

エコドライブ教育

トナミ運輸は、ドライバー研修や新入社員教育時に、省燃費運転、自動車の適切な点検・整備の仕方、省燃費運転の注意事項について周知徹底をはかっています。また、社会活動の要請を受け、『エコドライブと交通安全』について講師を派遣し、地域社会のエコドライブへの取り組みに協力しています。



ドライバーが持つ安全手帳には、燃料節約のポイント等、経済運転について掲載されています

駐停車時はアイドリングストップ

アイドリングストップは、自動車の燃料消費量を抑え、CO₂を削減します。トナミ運輸では、アイドリングストップワイヤー(キー抜きロープ)をすべての集配ドライバーに携帯させ、車を離れる際も、必ずエンジンをストップするようにしています。



アイドリングストップワイヤー



廃棄物削減への取り組み

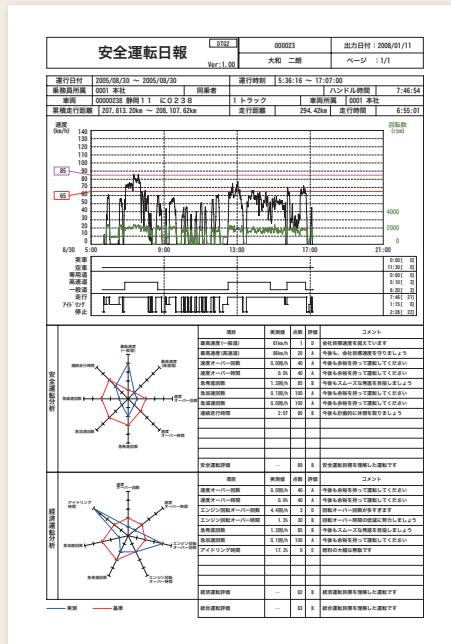
廃棄物削減に向けて従来の取り組みを見直し、継続的改善に努め、ゴミ減量化とリサイクルの推進を行っています。

● デジタル式運行記録計の活用

トナミホールディングスグループは、デジタル式運行記録計※を導入し、車両に装着しています。

このシステムの導入により、危険運転や事故発生の記録はもちろん、安全運転の証明もできるようになり、交通事故防止だけでなく、模範運転について指導ができるようになりました。

※デジタル式運行記録計は、時間・距離・速度の3要素を含むすべてのデータを数値で記録をとり、画像での解析・表示ができます。

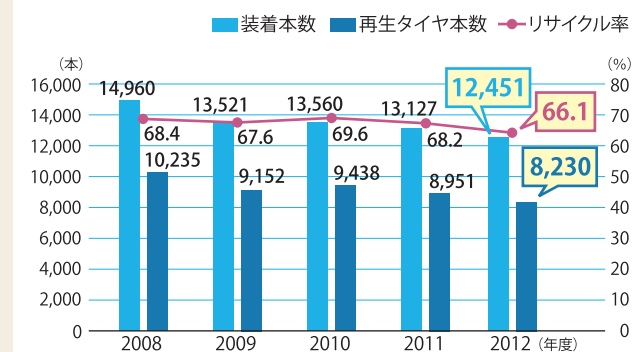


運転日誌

● 使用済みタイヤのリサイクル

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、資源の有効利用をはかるため、使用済みタイヤはすべて再生タイヤメーカーに引き取ってもらっています。また、積極的に再生タイヤを使用しています。

使用済みタイヤのリサイクル実績の推移



● 環境にやさしい商品の利用

トナミホールディングスグループは、制服、事務用品等は、できるだけ環境への負荷が少ない商品の購入・利用を推進しています。

トナミ運輸本社は、地域企業、自治体で構成する、地域完結型の古紙リサイクル活動に参加しています。トイレットペーパー、段ボール、コピー用紙は、サークル活動に加入する企業が排出した古紙を原料とした再生製品を使用しています。



リサイクル
段ボール



リサイクル
トイレットペーパー

● 各種省エネ設備の導入

太陽光発電

トナミ運輸は、2011年度の事業として、久喜支店および富士支店の建設に伴い太陽光発電を導入しました。

久喜支店の月間電気使用量は約46,500kWhを予測していますが、そのうち約900kWhを太陽光により賄うものです。富士支店も同量の発電量を予定しています。

今後建設を予定している支店においても太陽光発電を積極的に導入する予定です。



富士支店の太陽光パネル

屋上緑化設備

トナミ運輸は、2012年度の節電対策の1つとして、川崎支店の睡眠室棟に屋上緑化を採用しました。夏場は外からの熱流入を81%カットし、冬場は室内からの熱放出を45%カットできる点が特徴となっています。このためエアコンの使用量が減り、年間2,600kWhの節電と1.8t-CO₂排出量の削減が期待できます。



屋上緑化

Topics

ホームページで 閲覧できるカタログ

トナミ運輸物品販売事業部は、ペーパーレス化の一環として各種セールのカタログをホームページから閲覧できるようにしています。

また、北陸3県の特産品を扱ったショッピングサイトもありますので、日頃お世話になっている方々への贈答品等にいかがでしょうか。

<http://www.tonami.co.jp/services/buppan/index.html>



社員とのつながり

安全な社会づくりを目指して

交通事故防止への取り組みは、事業の中だけでなく地域社会にまで展開し、安全な社会づくりに貢献していきたいと考えます。

● 輸送の安全に関する基本的な方針

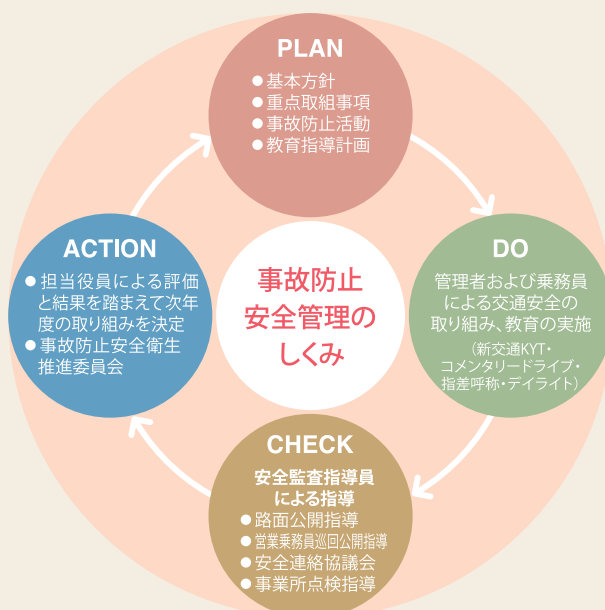
トナミ運輸は、輸送の安全に関する基本的な方針を設定しています。

- ① 当社の安全衛生は、従業員の生活と安全を守ることを基本とする
- ② 常に安全・確実・迅速なサービスを提供する
- ③ 交通事故のない社会を作り上げるための牽引車となるべき行動を取る
- ④ あらゆる機会を利用し、地域の安全推進企業として社会に信頼されるよう模範行動に徹する

● 安全管理体制

トナミ運輸は、本社に中央事故防止安全衛生推進委員会を、全国7主管支店に地方事故防止安全衛生推進委員会を設置して、交通事故防止や労働災害防止など、さまざまな課題に対して討議を行いながら取り組みを推進しています。

交通安全の取り組みは、PDCAサイクルを回し、継続的な改善を実施することによって、次年度の取り組みにつなげています。



事故防止安全衛生推進委員会体制



安全管理強化システム

事故防止の強化をはかるため、乗務員一人ひとりに3段階評価を実施し、結果に応じた指導を行う「安全管理強化システム」を推進しています。

- 1 社則の点検検証事故防止の取り組み
- 2 運転指導票の発行
- 3 指導教育



● 乗務員の安全教育

新入乗務員からベテラン乗務員まで、経験年数・年齢ごとの階層別の集合教育や練習コースでの実車教習をシステム化し、切れ目のない教育を行っています。

また、現場教育として、安全監査指導員が全国の事業所を巡回し、乗務員個々の運転適性診断票をもとに「交通弱者の保護」を第一とした指導・育成を推進するとともに、事業所長やリーダーと連携しながら、メンタル面を含めた安全教育の実施に努めています。



安全運転教育



車両点検教育



安全運転教育



アルコール検知器検査の実施



安全手帳の携帯

あんぜん号による運転適性診断

あんぜん号は、自動車運転の適性検査機器を備えた運転適性診断車です。動体視力検査、夜間視力検査、速度見越検査などの8項目の検査機器を搭載しており、コンピュータで安全運転のポイント診断ができます。乗務員に対して定期的に適性検査を実施すると同時に、ご要望のあるイベント・企業・学校へ出向き、適性診断・指導を実施しています。



あんぜん号



ハイウェイレディ

富山県高速道路交通安全協議会の委託を受けて、当社従業員がハイウェイレディとして、高速道路を利用するドライバーなどの交通安全意識の高揚を目的に、富山県内のインターチェンジやサービスエリアで安全運転を呼びかけています。



人材育成と働きやすい職場づくりを目指して

人事制度、教育制度により、個々の人材を伸ばし、
また、職場の安全確保、従業員のこころとからだへの配慮を通し、
従業員一人ひとりが活躍できる職場づくりを奨励しています。

● 安全な職場づくりを目指して

トナミ運輸は、従業員が安全に安心して働ける労働環境を整備するため、各事業所において「事故防止安全衛生推進委員会」を設置しています。職場における従業員の安全を確保することは、従業員およびその家族の幸せ、またお客様へのサービス、品質の維持・向上の観点からも重要な取り組みです。企業の財産である従業員への安全衛生対策の強化に取り組み、安全が確保された職場づくりに努めています。



朝礼点呼



ミーティング風景



消防訓練

● 人事制度

従業員の活力を高め、会社のさらなる成長と発展をはかるため、従業員一人ひとりの個性を尊重し、それぞれに役割を与え、それを軸に適正な評価と処遇を行い、自己の能力を伸ばすよう努めています。

● 高齢者雇用の取り組み

トナミ運輸は、継続雇用制度の適用など、定年後の従業員に対する労働環境整備の取り組みも進めています。また、2008年度から定年を60歳から61歳に延長しています。

● 人材育成・研修制度

従業員の能力開発と人材育成のため、新入社員から各種階層を対象に集合教育、現場教育、外部セミナー、通信教育など多様な研修制度を取り入れ、教育効果を高めるよう取り組んでいます。



研修風景

● ライフデザインセミナー

定年後の第2の人生を支援するため、定年2年前の方を対象に会社・労働組合・健康保険組合・企業年金基金共催によるライフデザインセミナー（研修会）を開催しています。



年金制度の説明を受ける参加者

● 事業所でのうがいを奨励

従業員の健康管理の一環として、従業員自らが積極的に健康管理を行ってもらうため、トナミ運輸の10事業所にうがい器を設置しました。



うがい器

● ワークライフ・バランス

誕生月には「誕生日有休」を設定し、年次有休休暇の計画取得を促進しています。また、2010年4月から毎月2回のノー残業デーを実施しています。これにより、従業員が家庭生活や個人の趣味などの時間を確保できるよう、職場環境を整えました。



ノー残業デー（カード実物）

● 「こころ」と「からだ」の健康づくり

従業員が健康で、充実した日常生活を送るために健康診断を実施し、その結果に基づき2次健診の勧奨、産業医や保健師による健康相談教室を開催し、従業員一人ひとりの健康管理に努めています。

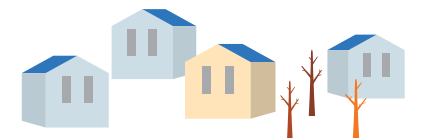
また、トナミ運輸健康保険組合では、従業員とその家族の方に健康への関心を高めてもらうことを目的に「健康づくり標語」を募集しています。入選作品は、各事業所に掲示しています。



健康づくり標語コンテスト

コーポレートガバナンス体制

トナミホールディングスグループは、
社会・ステークホルダーから信頼される企業としての体制を整備し、
事業のさらなる価値創造を目指します。



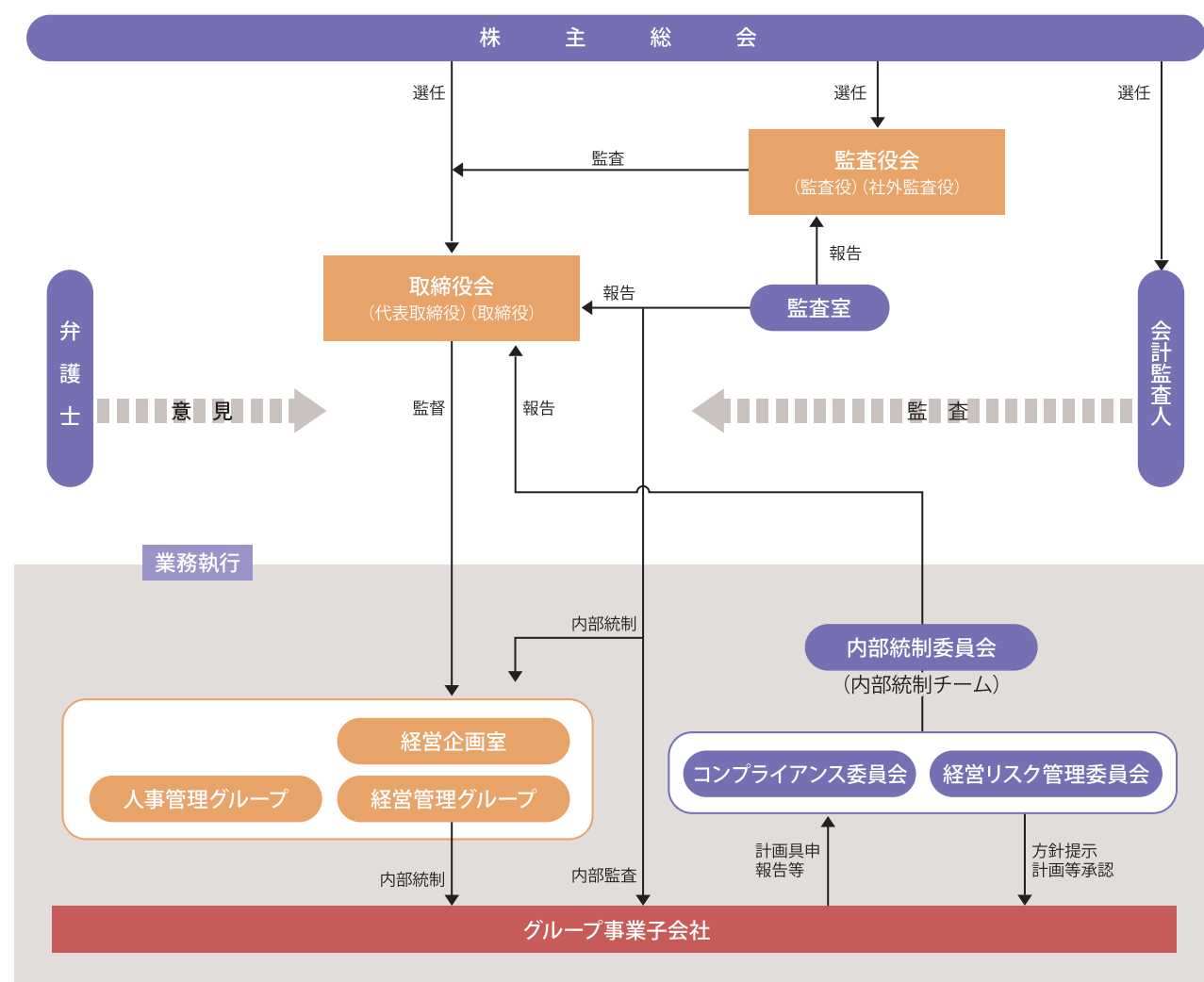
●コーポレートガバナンスの状況

当社の内部統制の基本方針については、2008年10月1日開催の取締役会で決議し、その基本方針に基づき内部統制委員会が中心となって、健全な内部統制システムの構築をはかり、トナミホールディングスグループの企業価値向上にむけて取り組んでおります。

① 会社の機関の内容及び内部統制システム

当社には、経営方針及び経営戦略に関わる重要事項を担当する機関として取締役会を設置しており、取締役会規則に基づいて、月1回これを開催することを原則としております。

コーポレートガバナンス体制組織図



その他必要に応じて随時開催して、取締役会の意志疎通をはかるとともに相互に業務執行を監督し、必要に応じて外部の専門家を起用し、法令定款違反行為を未然に防止することといたしております。

また、当社は内部統制構築の一環として、監査役制度を採用しており、常勤監査役2名、社外監査役3名の5名体制で構成し、監査役は取締役会及びその他重要会議への出席や意見の具申等で取締役の適法性について監査しております。

取締役の職務執行については、監査役会の定める監査の方針及び分担に従い、社外監査役を含め各監査役の監査対象となっております。

取締役が他の取締役の法令定款違反行為を発見した場合は、直ちに監査役及び取締役会に報告し是正をはかることとしており、内部監査部門として業務執行部門から独立した監査室を置いております。

なお、一般株主との利益相反が生じるおそれのない独立役員1名を選任し、外部の視点での取締役会の監督機能の強化をはかることとしております。

さらに、コンプライアンス体制の基礎として「トナミグループ社員行動規範」を定め、意思決定機関として社長を委員長とする内部統制委員会を設置し、内部統制担当役員を中心とする内部統制システムの向上をはかっております。

コンプライアンスの統括組織としてコンプライアンス委員会を設置し、内部統制チーム（監査室内）が内部統制体制の維持・向上のための統括・運営・研修を実施しております。

事業子会社における業務の適正を確保するため、グループ事業子会社すべてに適用する行動指針として「トナミグループ社員行動規範」及び、「グループ運営規程」を定めるとともに、これを基礎として、グループ事業子会社で諸規程を定めています。なお、経営管理については、「グループ会社管理要領」により、本社承認・報告事項を定め、事業子会社経営の管理を行っております。

② 内部統制システムの整備の状況

当社の内部統制システムの整備状況にあたっては、トナミグループの経営リスクマネジメントに関する基本方針を定め、事業子会社の運営に影響を及ぼす恐れのある様々なリスクへの適切な対応を行い、経営基盤の安定化をはかるとともに、万が一、経営リスクが発生した場合の影響を極小化し、当社の損失及び社会的損失をできる限り発生させないよう取り組んでおります。

さらに、コンプライアンスの重要性を認識し、コンプライアンス委員会を設置し、「トナミグループ社員行動規範」に基づき、トナミグループ事業子会社の役員社員に企業倫理と法令遵守を浸透させるため推進担当者を選任し、コンプライアンスに関わる教育説明会を実施しております。

また、企業活動において、あらかじめ違反行為が起り得る可能性を抽出し、未然防止をはかるよう推進状況を報告させ、違反行為が発生した場合は早期に解決し、再発防止を講ずるコンプライアンス体制を構築しています。

なお、取締役会が決定した基本方針に基づき、速やかな業務執行に努めており、経営に関する法令遵守事項等については、必要に応じて公認会計士や弁護士等の専門家から助言を受け参考としております。

そして、「グループ運営規程」を基礎として、グループ事業子会社各社で諸規程を定め、「グループ会社管理要領」により本社承認・報告事項を定め、事業子会社の経営管理を行うことにより、経営環境の変化に速やかに対応する体制を整え、経営の健全化に努めております。

また、業務執行が適切で効率よく行われているかについては、監査室による内部監査を実施し、監査役及び取締役会に報告を行っております。

反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で臨み、一切の関係を持たないこととしております。また、不当要求等の介入に対しては、警察等の外部専門機関との緊密な提携のもと、関係部署が連携・協力して組織的に対応し、利益の供与は絶対行わないこととしております。

法および社会倫理の遵守

トナミホールディングスグループは、コンプライアンス体制とリスク管理体制を構築し、誠実かつ透明性の高い経営を目指しています。

●コンプライアンス体制の整備

トナミホールディングスグループは、遵法および倫理の観点から、役員社員が心がけるべき基本事項を、「社員行動規範」として定めています。トナミホールディングスにコンプライアンス委員会、トナミ運輸およびグループ全社にコンプライアンス部会を設置しています。

トナミホールディングスグループ 社員行動規範

- ① お客様に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供します。
- ② 地球環境を守るために、物流サービスのあらゆる段階において環境負荷低減に努めます。
- ③ 輸送活動にあたって、法・社会倫理・社内規程を遵守します。
- ④ 公正な企業活動をします。
- ⑤ 整理・整頓を心がけ、清潔を保って快適な作業環境を維持します。
- ⑥ 基本的人権を尊重し、良好な職場環境を維持します。
- ⑦ 企業情報・得意先情報・個人情報の保護に細心の注意を払います。
- ⑧ 得意先の価値創造に役立つコンセプトを構想、提案します。
- ⑨ コンピュータ・ネットワークの不正な利用・業務目的以外の使用をしません。

●コンプライアンス重点取組課題

2012年度は、トナミホールディングスグループとして業務に密接に関係する課題を12項目の重点取組課題に設定し活動しました。12項目を「共通課題」と「選択課題」に分け、「選択課題」が事業の内容に合わない場合は「独自課題」の教育を実施しました。

各部会から取組結果の報告を求め、コンプライアンス委員会で評価を行い、マネジメントレビューを実施しました。PDCAサイクルを回すことによって、継続的改善をはかっています。



●リスク管理体制の整備

トナミホールディングスグループは、経営リスクマネジメント方針を定め、社長を最高責任者とする経営リスク管理委員会を設置し、事業運営に影響を及ぼすさまざまなリスクに対応するために「トナミホールディングスグループ経営リスクマネジメント管理規程」を制定しています。

経営リスクマネジメント方針

トナミホールディングスグループは、自然災害、事故などの人為的災害、及び経営上の様々なリスクに的確に対処し、経営目標の達成を阻害するすべての要因を可能な限り防止し、排除することにより、社会的責任を果たす。

経営リスクマネジメント行動指針

- ① 経営リスクマネジメントに関する計画を策定し、実施する。
- ② 当社の役員及び従業員等及び関係者の安全・健康を確保する。
- ③ 当社の資産の保全を図る。
- ④ 経営リスクが顕在化した場合には、責任ある行動をとる。
- ⑤ 被害が発生した場合には、速やかな回復を図る。
- ⑥ 経営リスクに関連する社会的要請を当社の経営リスクマネジメントシステムに反映する。

●個人情報保護の取り組み

トナミホールディングスグループは、お客様やお取引先の個人情報を、「お荷物と同じく、お客様からの大切なお預かりもの」として、細心の注意を払い、責任を持って取り扱っています。

トナミホールディングスは、2005年4月、個人情報保護法の施行に伴い、「個人情報保護コンプライアンスプログラム」を制定し、グループ全体で、個人情報の適切な利用と保護のための実践遵守基準を明確にしました。

●ISMS認証取得

トナミホールディングスグループは、お客様の個人情報や情報資産の管理強化、サービスの安全性・信頼性の一層の向上をはかるため、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証取得を奨励しています。



ISMS認証取得

トナミ運輸ネットワーク推進部IDCグループは2012年6月、インターネットグループは2007年3月、けいしんシステムリサーチは2009年8月に「ISO/IEC27001:2005（JIS Q 27001:2006）」の認証を取得しました。



ISO/IEC27001:2005（JIS Q 27001:2006）認証取得済
上記は、情報システム事業部IDC運用チームのものです。

●公益通報者保護法への対応

トナミホールディングスは、グループ会社も含めた「トナミホールディングスグループ社内通報規程」を制定しています。通報受付窓口として「監査室相談窓口」を設け、①通報者の保護②グループ内に潜むリスクの早期発見③不正通報の濫用の抑止などに努めています。

また、業務委託会社に対しても秘密保持契約を締結し、委託先の適切な監督を行っています。

トナミホールディングスグループがお預かりする個人情報

- お客様情報 ●名刺 ●株主名簿 ●送り状 ●受領票
- 申込書（注文受付書） ●インハウス情報 ●EDI情報

トナミホールディングスは、プライバシーポリシーをホームページ上で公開しています。
<http://www.tonamiholdings.co.jp/privacy.html>



トナミホールディングスグループの概要

会社概要

(2013年9月30日現在)

商 号 トナミホールディングス株式会社
設 立 1943年6月1日
資本金 14,182百万円
本 社 〒933-8788 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号

物流関連事業

貨物自動車運送事業

- | | | |
|---------------|-------------------------------|--------------------|
| ■ トナミ運輸(株) | ■ 茨城トナミ運輸(株) | ■ 北海道トナミ運輸(株) |
| ■ トナミ運輸信越(株) | ■ 中京トナミ運輸(株) | ■ 高岡通運(株) |
| ■ トナミ運輸中国(株) | ■ 福井トナミ運輸(株) | ■ 東砺運輸(株) |
| ■ 関東トナミ運輸(株) | ■ 武生通運(株) | ■ ジャパン・トランズ・ライン(株) |
| ■ 呉西トナミ運輸(株) | ■ 阿南自動車(株) | |
| ■ トナミ首都圏物流(株) | ■ トナミ国際物流(株) | |
| ■ トナミ近畿物流(株) | ■ Mahaporn Transport Co.,Ltd. | |
| ■ 全ト運輸(株) | ■ 托納美物流(大連)有限公司 | |
| ■ 石川トナミ運輸(株) | ■ H&R Forwarding Co.,Ltd. | |



貨物利用運送事業

- | | | | |
|--------------|---------------|--------------|---------------------------|
| ■ トナミ運輸(株) | ■ トナミ首都圏物流(株) | ■ 中京トナミ運輸(株) | ■ 托納美物流(大連)有限公司 |
| ■ トナミ運輸信越(株) | ■ トナミ近畿物流(株) | ■ 福井トナミ運輸(株) | ■ H&R Forwarding Co.,Ltd. |
| ■ トナミ運輸中国(株) | ■ 全ト運輸(株) | ■ 新潟トナミ運輸(株) | ■ 北海道トナミ運輸(株) |
| ■ 関東トナミ運輸(株) | ■ 石川トナミ運輸(株) | ■ 武生通運(株) | ■ 高岡通運(株) |
| ■ 呉西トナミ運輸(株) | ■ 茨城トナミ運輸(株) | ■ 阿南自動車(株) | ■ 東砺運輸(株) |

倉庫業

- | | |
|--------------|--------------|
| ■ トナミ運輸(株) | ■ 新潟トナミ運輸(株) |
| ■ トナミ運輸信越(株) | ■ 第一倉庫(株) |
| ■ トナミ運輸中国(株) | |
| ■ 京神倉庫(株) | |
| ■ 関東トナミ運輸(株) | |



港湾運送事業

- トナミ国際物流(株)

情報処理事業

- トナミ運輸(株)
- けいしんシステムリサーチ(株)
- (株)シー・フォーカス

販売事業

物品販売並びに委託売買業

- トナミ運輸(株)
- 関東トナミ運輸(株)
- 東洋ゴム北陸販売(株)
- トナミ商事(株)



損害保険代理業

- トナミ運輸(株)
- トナミ商事(株)

総合リース業

- トナミ商事(株)

- 連結子会社
- 非連結持分法非適用子会社
- 持分法適用関連会社

その他

自動車修理業

- トナミ運輸(株)
- トナミ運輸信越(株)
- トナミ運輸中国(株)



ダイレクトメール業

- 関東トナミ運輸(株)

その他事業

- トナミビジネスサービス(株)
- トナミスタッフサポート(株)

その他事業

- (株)トナミ自動車科学研究所
- TONAMI(THAILAND) Co.,Ltd.
- (株)ジェスコ
- 高岡ケーブルネットワーク(株)

旅館業

- 庄川観光(株)

旅行業

- トナミ商事(株)

トナミホールディングス株式会社

〒933-8788 富山県高岡市昭和町3-2-12
TEL (0766) 32-1073 FAX (0766) 32-1077
URL <http://www.tonamiholdings.co.jp/>
(本報告書はホームページでもご覧いただくことができます。)



本冊子は再生紙を使用しています。

2013年12月発行